



秋竹小 学校だより

第28号 平成24年10月31日

作品展に向けて

以前ご案内しましたように、昨年までの学習発表会に替わって、今年は作品展を開催します。

13年ぶりの作品展に向けて、どの学年も作品作りが佳境に入りつつあります。12日からは、体育館にパネルを運び込み、展示の準備に入ります。学年ごとのブースを設け、絵画、工作、書写作品、などなど、子どもたちの力作を展示します。

学年の作品だけでなく、クラブからの出品もあります。さて、どんな展覧会となりますか、乞う、ご期待！！



のこぎりを使って



今日はハロウィン！！

30日(火)の外国語活動(5・6年)では、ハロウィンにちなんで、キース先生自ら被り物をしての授業となりました。

「What is this?」

「It's ○○(カードの絵に描かれたもの)」で、床に並べたカードの中から正しいものを取ります。ちゃんと聞いていないと間違ったカードを取って、お手つきになってしまいます。

(お手つきになったら1回休憩)どの子も、カードとにらめっこ、キース先生の言葉を聞き漏らすまいと必死です。英語を聞き取ろうという意欲高めるためには、かなり効果的な手立てだったようです。大いに盛り上がった授業となりました。

日本でも、最近はハロウィンが話題に上ることが多くなってきました。みなさんのご家庭ではいかがでしょうか。



明日は芸術鑑賞会

芸術の秋にふさわしく、明日11月1日(木)は芸術鑑賞会が行われます。劇団うりんこによる「生き物生き方図鑑」を上演していただきます。

「そうじの時間に、とんでもないことが起きた。ぼくたち4人、とんでもないものに変身してしまった。」生き物の目から見た世界を描いたものです。さて、どんなお話でしょうか、…。ぜひ、夕食の食卓の話題にしてください。

小耳に挟んだ「らよっといい話」

「秋竹は、ほんとにいいですね。」

「そうそう、高学年の子達が、家に帰ってからも遊んでくれるし。」

「遅くなると、家に送ってくれる子もいますよ。この前、お姉ちゃん(近所の高学年)に送ってもらったって、帰ってきたんですよ。」

日暮れが早くなって、遅くまで戸外で遊んでいると危ないね、という話をしているときの事です。低学年の子のお母さんたちがこんな話をしにいらっしやいました。学校では、なかま活動の時間だけでなく、休み時間などにも、低学年と遊ぶ高学年の姿をよく見かけます。地域でも、同じように年齢の違いを超えて上手に遊んでいるという話を耳にし、本当に嬉しくなりました。

さすが、秋竹っ子です。

